

名
称

法留用コンクリート基礎

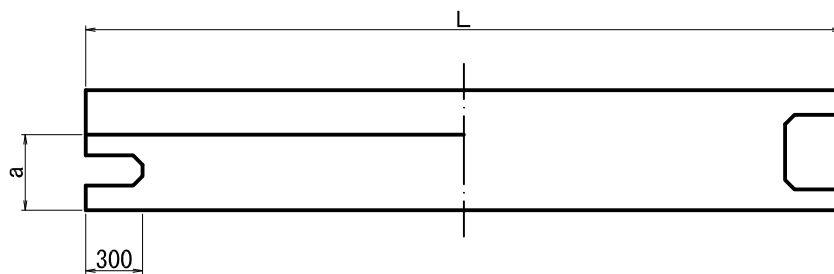
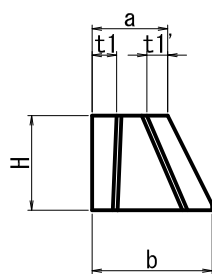
標準設計番号

河－ I － 1

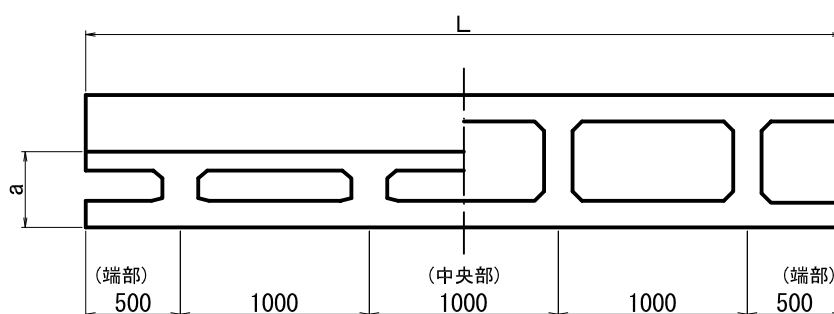
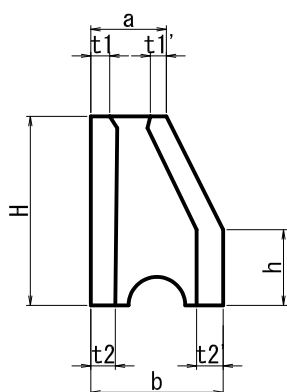
工種記号

基－ P

1 型



2～6型

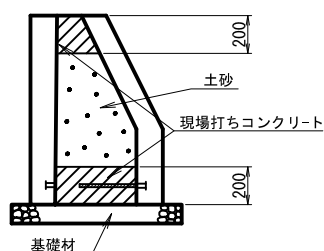


タイプ	寸 法 (mm)									参考質量 (kg)
	H	a	b	h	t1	t2	t1'	t2'	L	
1 型	500	400	635	—	130	—	110	—	4000	2230
2 型	800	400	600	400	140	120	140	120	4000	2610
3 型	1000	400	700	400	100	130	90	140	4000	3080
5 型	1300	500	900	500	150	140	130	150	4000	4760
6 型	1500	600	1000	700	160	150	155	150	4000	6100
許容差	$+20, -10$	± 5	± 5	± 5	—				$+10, -5$	—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ ブロック同士の接合は専用連結プレートを使用し、中詰土砂及びコンクリートを打設する。

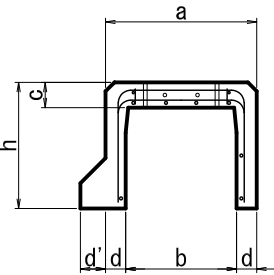
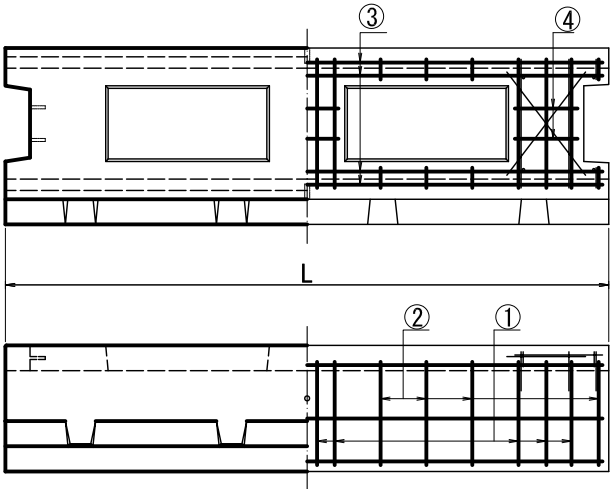
参考図



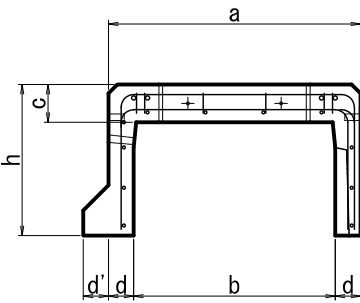
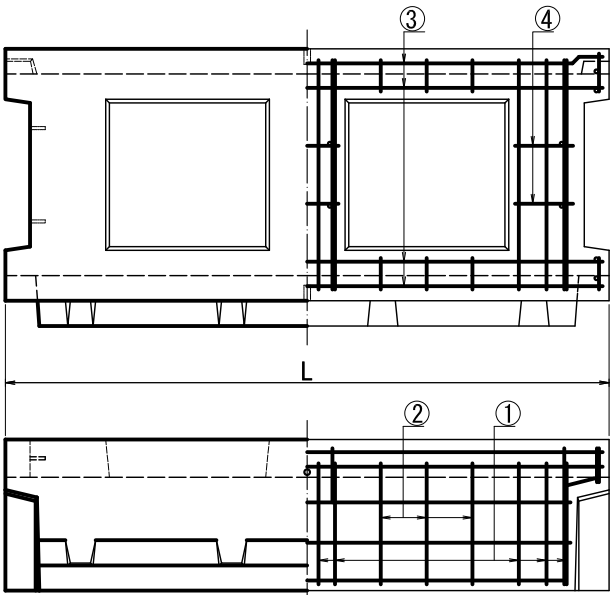
中央部断面図

名 称	鋼矢板用コンクリート基礎	標準設計番号	河－Ⅰ－6
		工種記号	基－Ⅴ

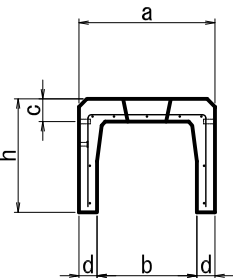
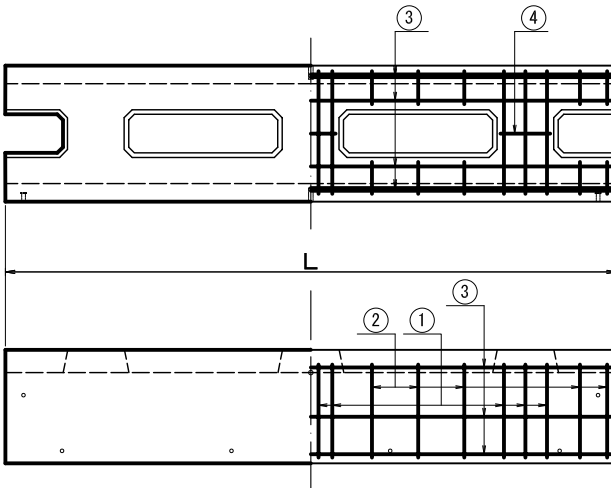
A・C型



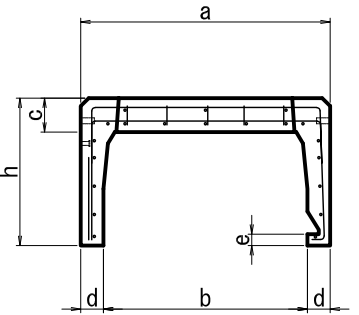
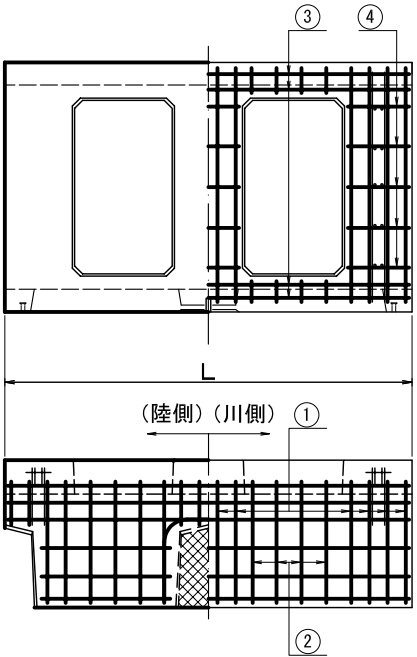
B・D型



H₁・H₂型



H₃・H₄型

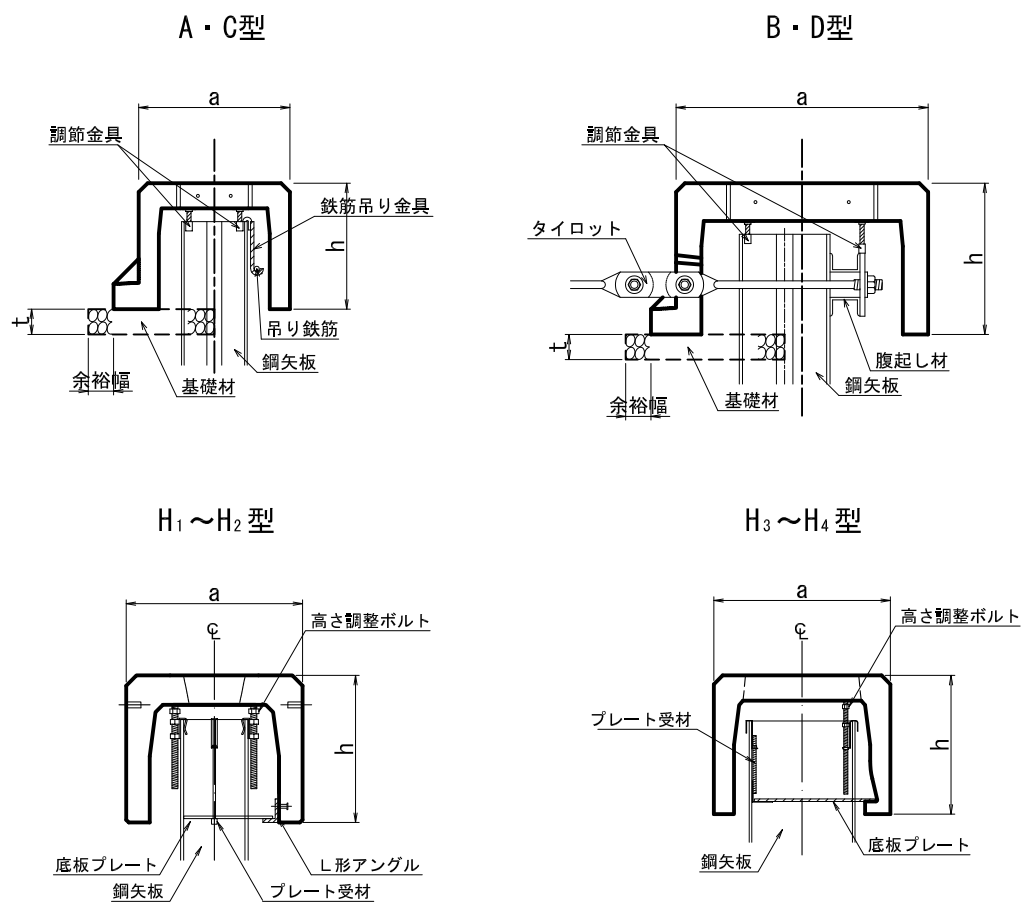


呼び名	寸 法 (mm)								参考質量 (kg)
	a	b	c	d	d'	e	h	L	
A 型	600	440	100	80	100	—	500	2396	680
B 型	1000	800	150	100	100	—	600	2396	1090
C 型	700	540	100	80	100	—	500	2396	700
D 型	1300	1060	150	120	—	—	800	2396	1630
H ₁ 型	600	440	100	80	—	—	500	2694	707
H ₂ 型	700	540	100	80	—	—	500	2694	740
H ₃ 型	1100	900	150	100	—	50	650	1796	824
H ₄ 型	1100	900	150	100	—	50	850	1796	970
許容差	±3	±3	±5	±3	±3	±3	±3	±5	—

呼び名	鉄 筋							
	①	②	③	④	①	②	③	④
A 型	径 D10	本数 10	径 D10	本数 16	径 D6	本数 6	径 D6	本数 6
B 型	径 D10	本数 10	径 D10	本数 16	径 D6	本数 8	径 D6	本数 6
C 型	径 D10	本数 10	径 D10	本数 16	径 D6	本数 6	径 D6	本数 6
D 型	径 D13	本数 12	径 D13	本数 16	径 D10	本数 12	径 D10	本数 12
H ₁ 型	径 D10	本数 10	径 D10	本数 20	径 D6	本数 8	径 D6	本数 3
H ₂ 型	径 D10	本数 10	径 D10	本数 20	径 D6	本数 8	径 D6	本数 3
H ₃ 型	径 D13	本数 12	径 D13	本数 16	径 D10	本数 12	径 D10	本数 15
H ₄ 型	径 D13	本数 12	径 D13	本数 16	径 D10	本数 12	径 D10	本数 15

- 特記事項
- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
 - ・ 鉄筋はSD295とする。
 - ・ 法留タイプも可能。

参考図表



参考数量 延長2.4m当り

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 (mm)	中詰コン クリート (m ³)
A 型	100	100	0.46
B 型			1.00
C 型			0.57
D 型			1.80

参考数量 H₁, H₂型 : 延長2.7m当り
H₃, H₄型 : 延長1.8m当り

項目 呼び名	基礎材 余裕幅 (mm)	基礎材厚 (mm)	中詰コン クリート (m ³)
H ₁ 型	100	100	0.50
H ₂ 型			0.62
H ₃ 型			0.88
H ₄ 型			1.20

鋼矢板用コンクリート基礎 適用範囲

呼び名	矢板の種類		
	普通鋼矢板	広幅鋼矢板	ハット形鋼矢板
A 型	I 型～Ⅲ型	Ⅱ 型	—
B 型	I 型～Ⅲ型	Ⅱ 型～Ⅲ型	—
C 型	Ⅲ _A 型～Ⅳ _A 型	Ⅱ 型～Ⅳ 型	—
D 型	I 型～Ⅳ _A 型	Ⅱ 型～Ⅳ 型	—
H ₁ 型	—	—	SP-10H
H ₂ 型	—	—	SP-25H, SP-45H, SP-50H
H ₃ 型	—	—	SP-10H, SP-25H
H ₄ 型	—	—	SP-10H, SP-25H

名
称

コンクリート格子枠張

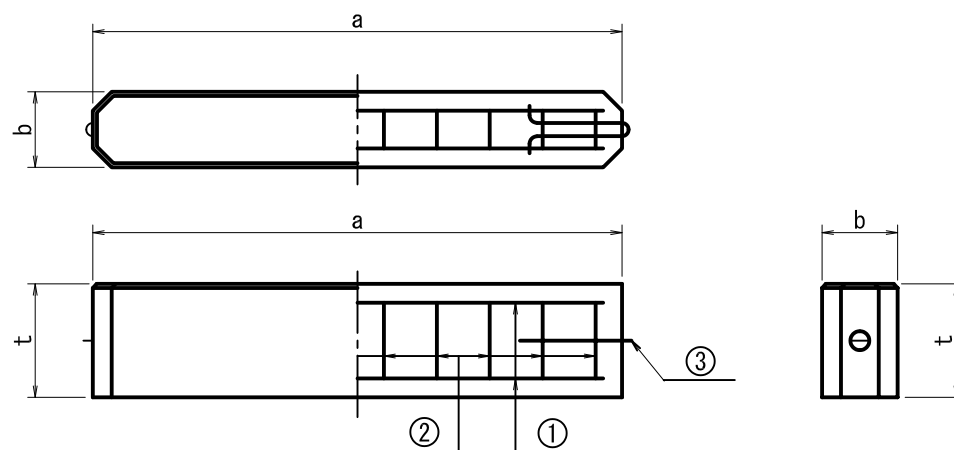
標準設計番号

河－Ⅱ－1

工種記号

枠

Ⅲ 型



呼び名	寸 法 (mm)			鉄 筋						参考質量 (kg)
				①		②		③		
	a	b	t	径	本数	径	本数	径	本数	
Ⅲ 型	1400	200	300	D10	4	4	10	9	2	197
許容差	±3	±3	+5, -3	—						—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295及びJIS G 3532に規定する鉄線とする。

名称

大型張ブロック

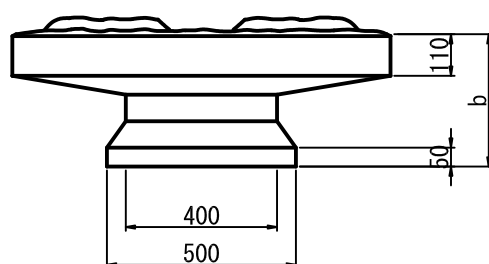
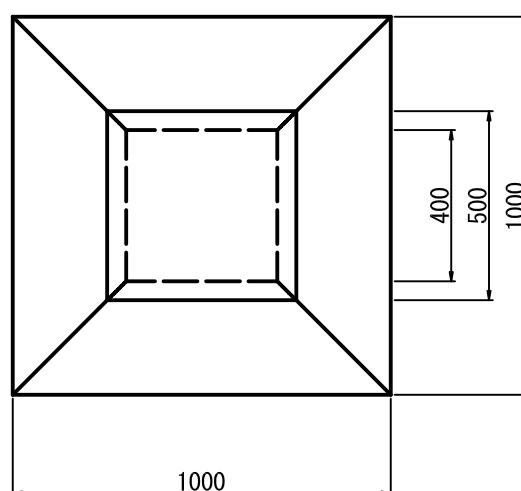
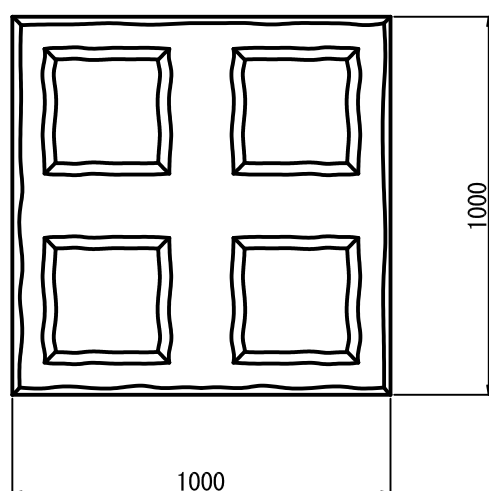
標準設計番号

河－Ⅱ－5

工種記号

張－(大型)

I 型



タイプ	b寸法 (m)	質量 (kg)
1	0.35	400
2	0.45	455
3	0.50	485

寸法許容差

面	控え
+5, -3	+10, -5

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 間知ブロック張を基本とし、面を大型にしたブロックとする。
- ・ 面の模様は自由とする。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

参考図表

参考数量		(1m ² 当り)
タイプ	胴込コンクリート量 (m ³)	裏込工 (m ³)
1	0.18	0.20
2	0.25	0.20
3	0.29	0.20

名
称

石張ブロック

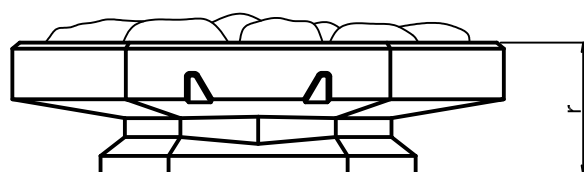
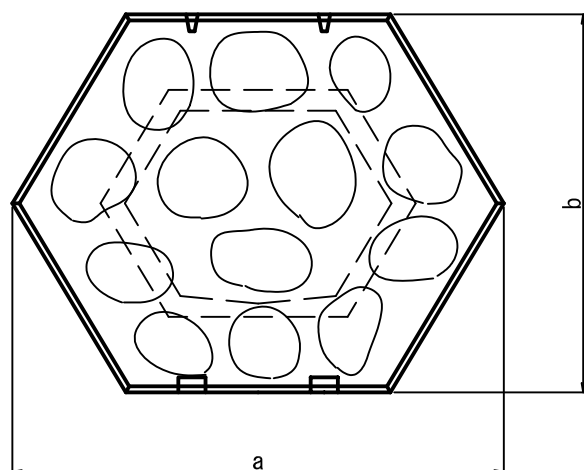
標準設計番号

河－Ⅱ－6

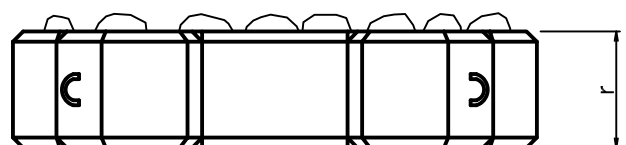
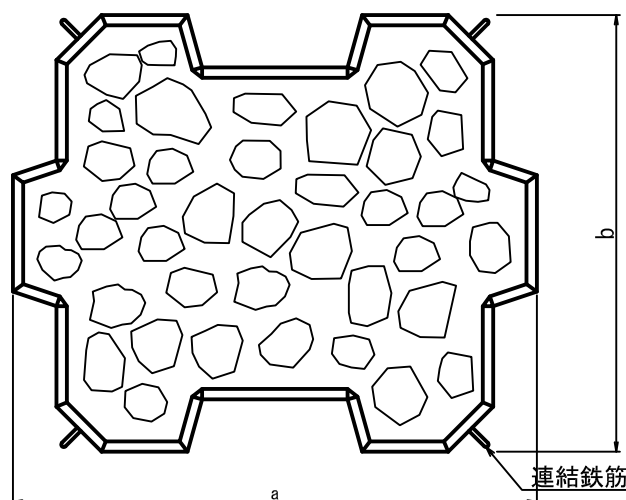
工種記号

SK

Ⅰ 型



Ⅱ 型



呼び名	寸法 (mm)			参考質量 (kg)
	a	b	r	
Ⅰ 型	1300	1000	350	565
Ⅱ 型	1980	1650	440	2590
許容差	±3	±3	+8 -5	—

特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 栗石・玉石等を配置する。
- ・ ブロック間の接合には連結金具を用いて、モルタルを充填する。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

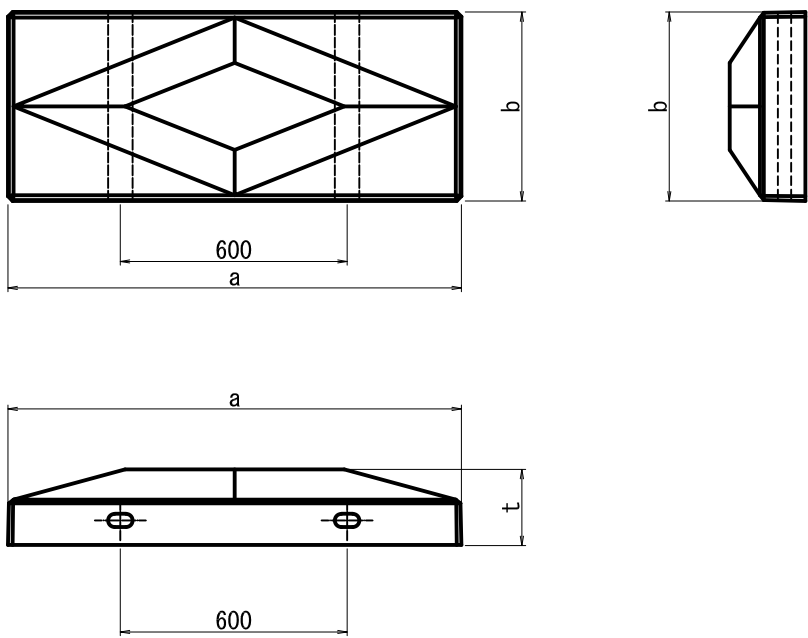
参考図表

参考数量

名 称		規 格	胴込めコンクリート量 (m ³)
Ⅰ 型	標 準	1300 × 1000 × 350	0.120
	根 石	1300 × 500 × 350	0.047
	天 端	1300 × 500 × 350	0.047
	端 部	650 × 1000 × 350	0.051

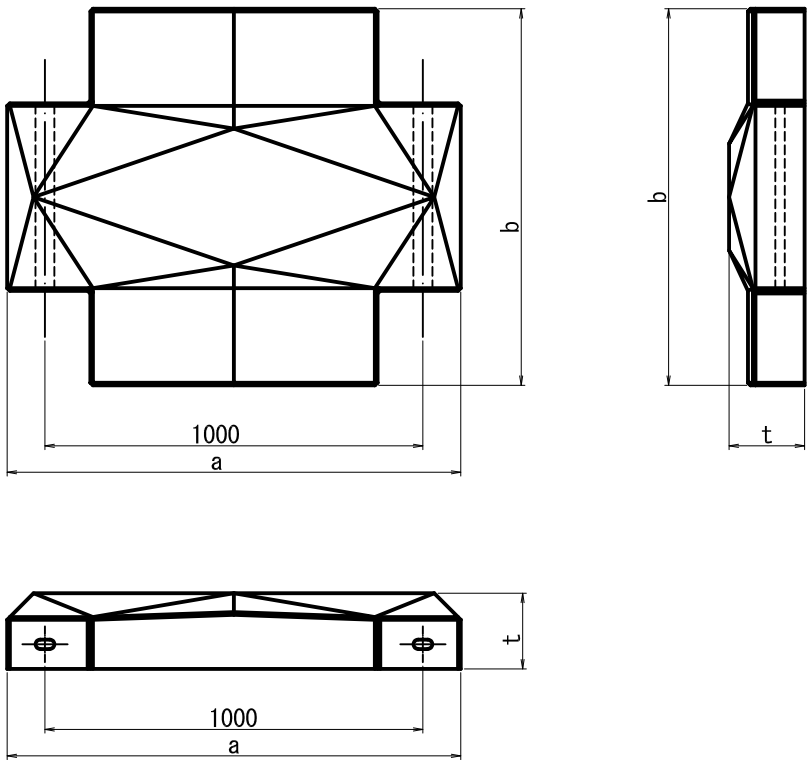
名 称	大型連節ブロック	標準設計番号	河－Ⅱ－7
		工種記号	連－Ⅰ

I 型



呼 び 名	寸 法 (mm)			参考質量 (kg)
	a	b	t	
I 型	1200	500	250	210
Ⅱ 型	1200	996	200	360
許 容 差	±3		+8, -5	—

Ⅱ 型

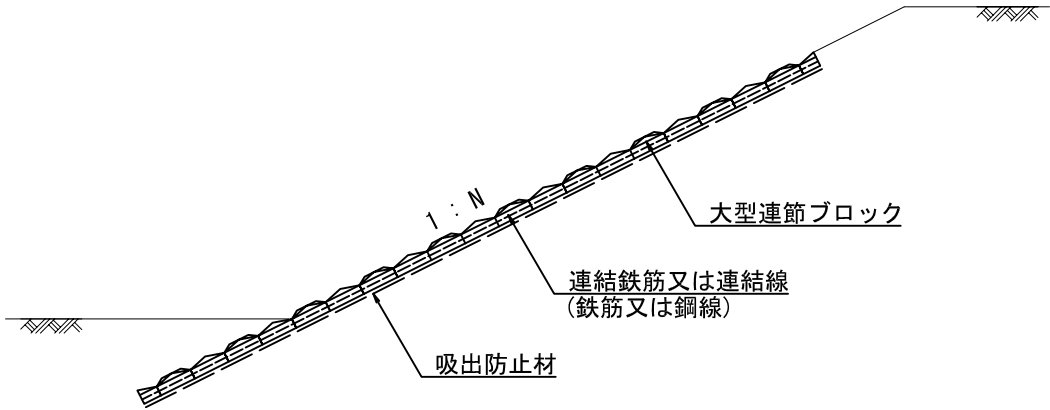


特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 1m^2 当り 350 kg 以上とする。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

参考図表

参考数量		(52m ² 当り)	
名 称	規 格	単 位	数 量
大 型 連 節 ブ ロ ッ ク	350kg/m ²	m ²	52.0
止 杭		本	
鉄 筋	φ=13mm D=13mm	kg	74.3
河川護岸用 吸出防止材	t =10mm	m ²	57.2
溶 接 長		m	1.03



名
称

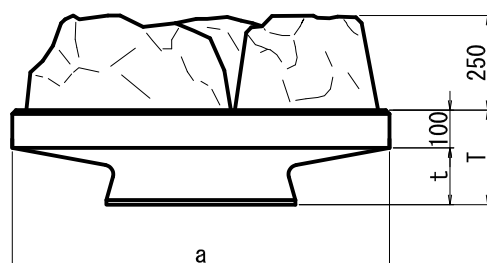
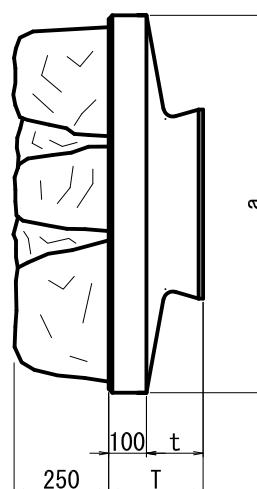
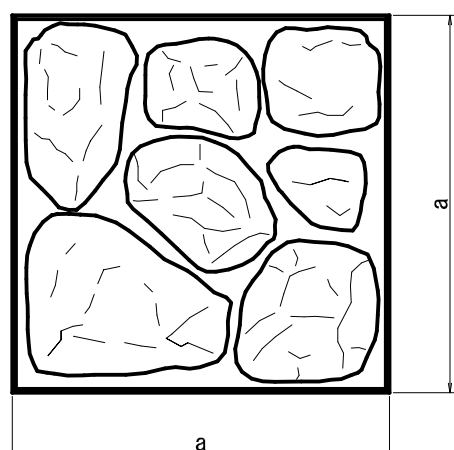
突起型張ブロック

標準設計番号

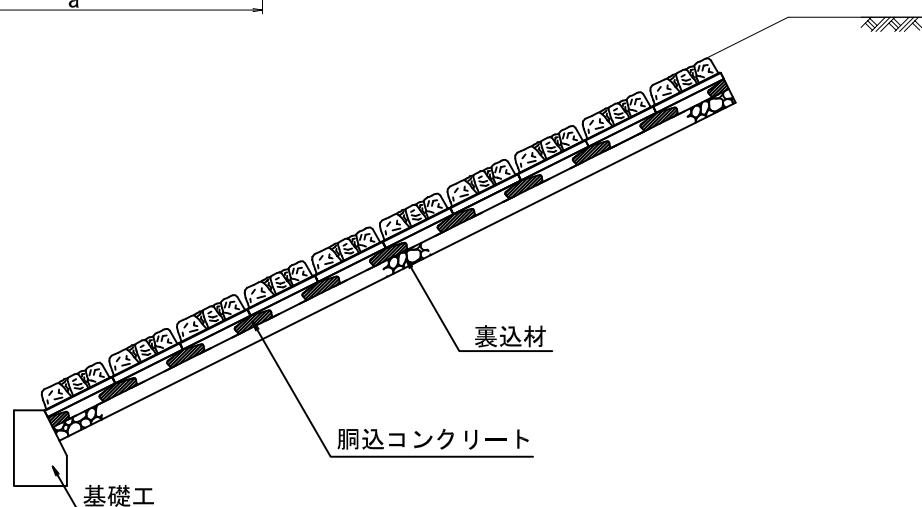
—

工種記号

—



呼 び 名	寸法 (mm)			参考質量 (kg/m ²)
	a	T	t	
350型	1000	250	150	450以上
許 容 差	±3	+5,-3	—	—



特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

参考図表

(1m² 当り)

呼 び 名	胴込コンクリート量 (m ³)	裏込工 (m ³)
350型	0.129	0.2

名
称

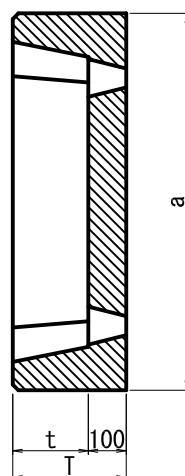
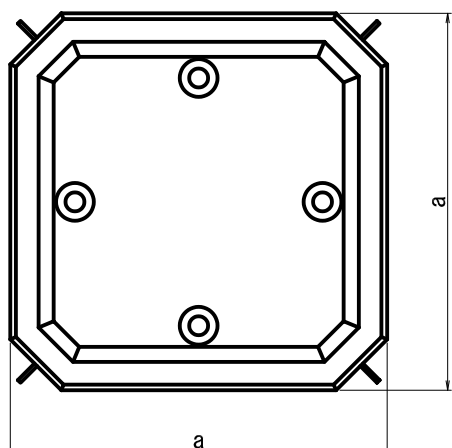
ボックス型平張ブロック

標準設計番号

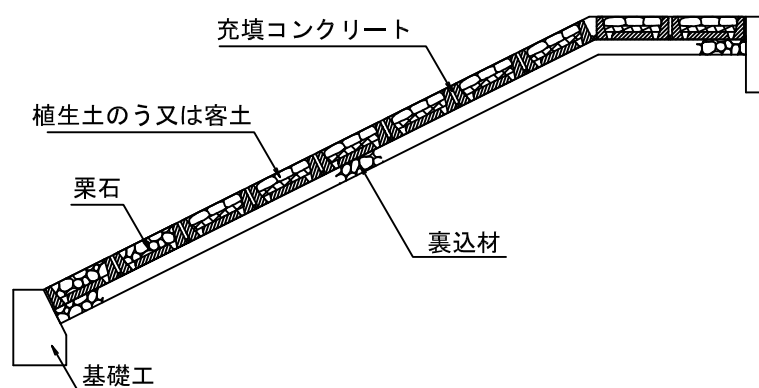
—

工種記号

—



呼 び 名	寸 法 (mm)			参考質量 (kg/m ²)
	a	T	t	
200型	1000	300	200	350以上
300型	1000	400	300	450以上
許 容 差	±3	+5,-3	+5,-3	—



特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ モルタルや金具を用いてブロック同士を接合する。
- ・ 必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

参考図表

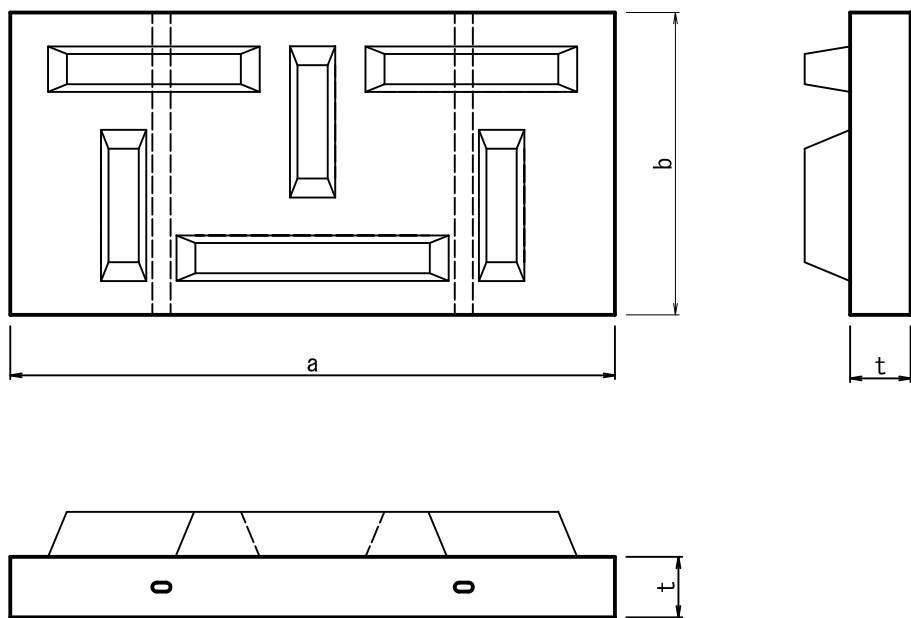
(1m² 当り)

呼 び 名	裏込工 (m ³)
200型	0.2
300型	0.2

名 称	覆土型連節ブロック	標準設計番号	－
		工種記号	－

標準図

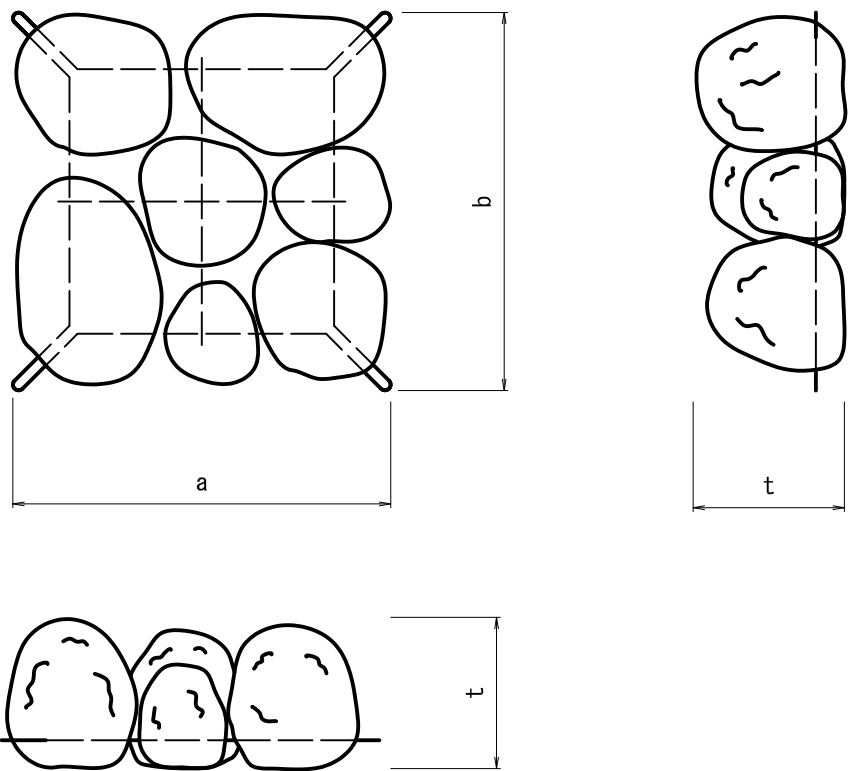
I 型（覆土タイプ）



寸 法 (mm)			参考質量
a	b	t	
950～	500～	100以上	350kg/m ² 以上

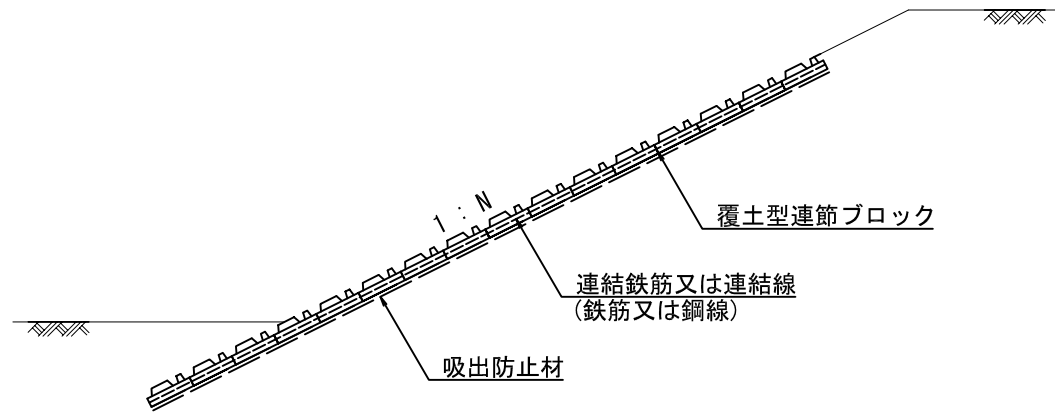
寸法許容差	
a, b	t
±5	+8, -5

II 型（擬石タイプ）



寸 法 (mm)			参考質量
a	b	t	
1000～	950～	100以上	350kg/m ² 以上

寸法許容差	
a, b	t
±5	+8, -5



特記事項

- ・詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・連結鉄筋は、SD295又はSR235とする。
- ・面の模様や形状は自由とするが、土砂が流れにくく、自然の蘇生を促す構造とする。
- ・必要な場合に応じて、流速等に対する性能特性を証明できること。

名
称

ブロックマット

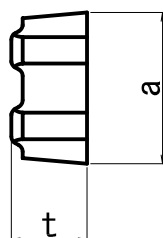
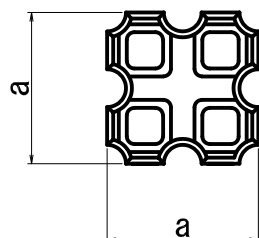
標準設計番号

－

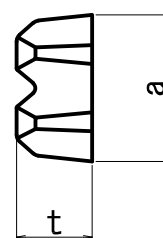
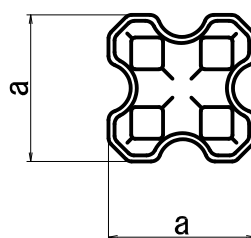
工種記号

－

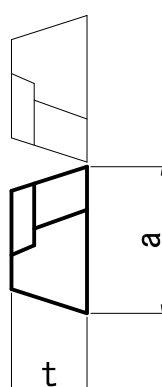
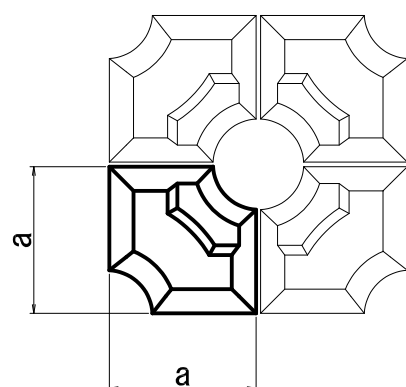
Ⅰ 型



Ⅱ 型



Ⅲ 型

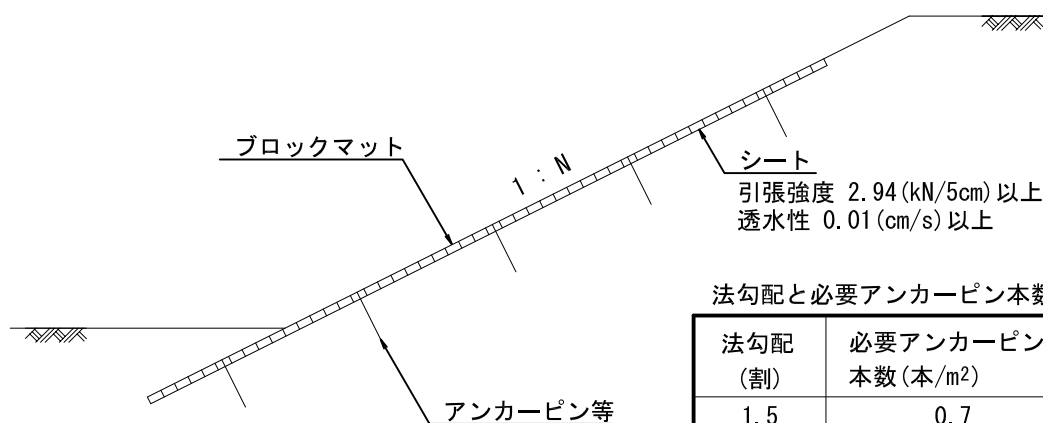


タイプ	寸法 (mm)		参考質量 (kg/m ²)
	a	t	
Ⅰ 型	200	100	135
許容差	±3	±3	－
Ⅱ 型	194	100	140
許容差	±3	±3	－
Ⅲ 型	195	100	125
許容差	+3 -2	+5 -3	－

特記事項

- ・ 詳細は、「河川災害復旧護岸工法技術指針(案) (社団法人 全国防災協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$ 以上。

参考図表



法勾配と必要アンカーピン本数

法勾配 (割)	必要アンカーピン 本数(本/m ²)
1.5	0.7
1.8	0.6
2.0	0.5
3.0	0.3

L=60cm, D=16mm, コの字型

名
称

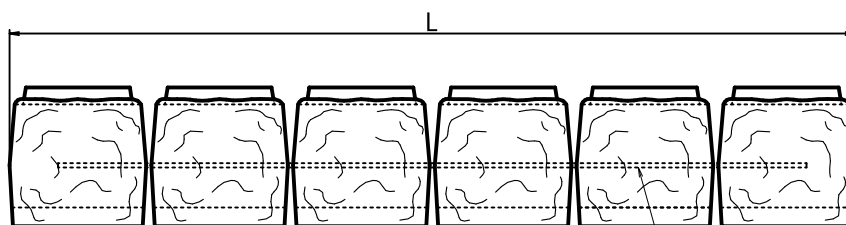
擬石型積ブロック

標準設計番号

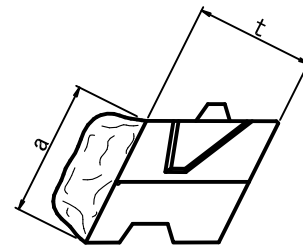
河－Ⅱ－8

工種記号

RG



D13(メッキ)



寸 法 (mm)			質 量
L	a	t	
500～2500	280～	350以上	350kg/m ² 以上

寸法許容差

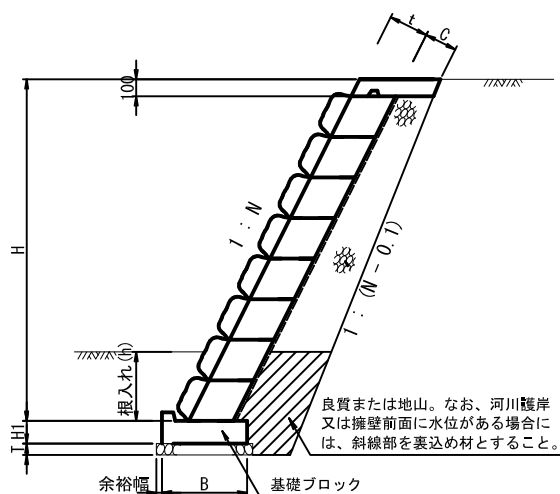
L, a	t
±5	+10, -5

特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 とする。
- ・ 面模様は自由とする。

参考図表

標準断面図

裏込め材料計算一般式 (m²)

擁壁前面に水位がない場合

$$A = \frac{(H-h-0.1)}{2} \left(2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H-h+0.1) \right)$$

河川護岸または擁壁前面に水位がある場合

$$A = \frac{(H+H_1+t-0.1)}{2} \left(0.1^2 + 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H+H_1+T) \right)$$

名称

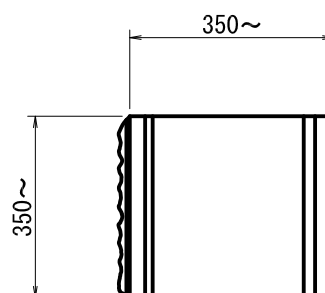
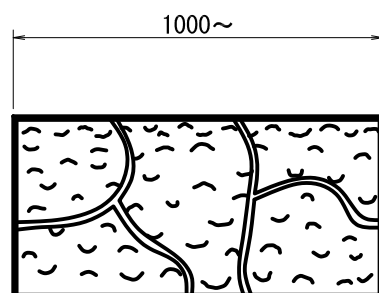
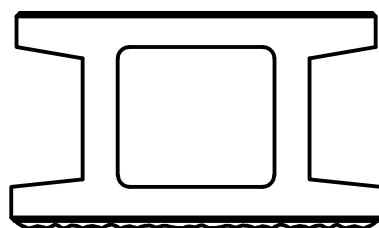
中空型積ブロック

標準設計番号

河－Ⅱ－9

工種記号

RC

参考質量 (kg/m²)

350以上

寸法許容差

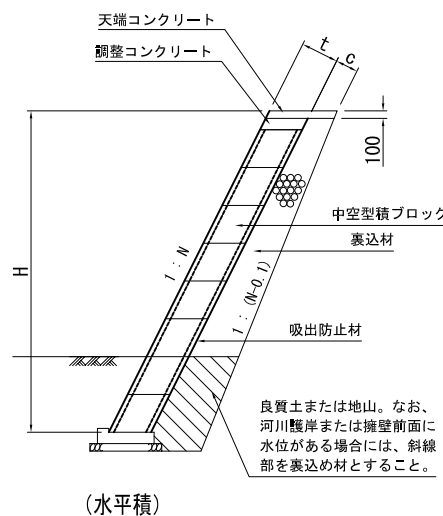
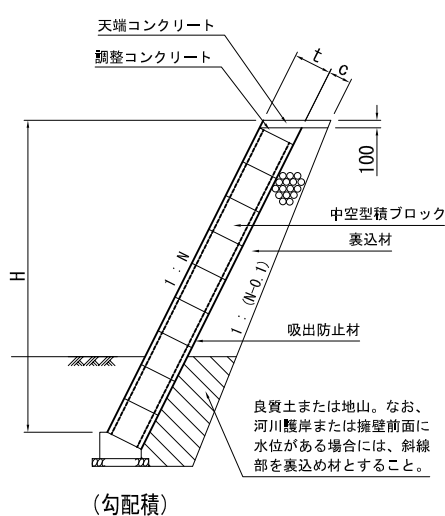
面	控え
±5	+10, -5

特記事項

- ・詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・表面模様は自由とする。
- ・ブロック1個当りの法面積(法長方向)は 0.5 m^2 以上とする。
- ・水平積構造もこれに含む。

参考図表

標準構造図



裏込め材厚さ (mm)

C

裏込め材が良好な場合

200

裏込め材が普通な場合

300

名
称

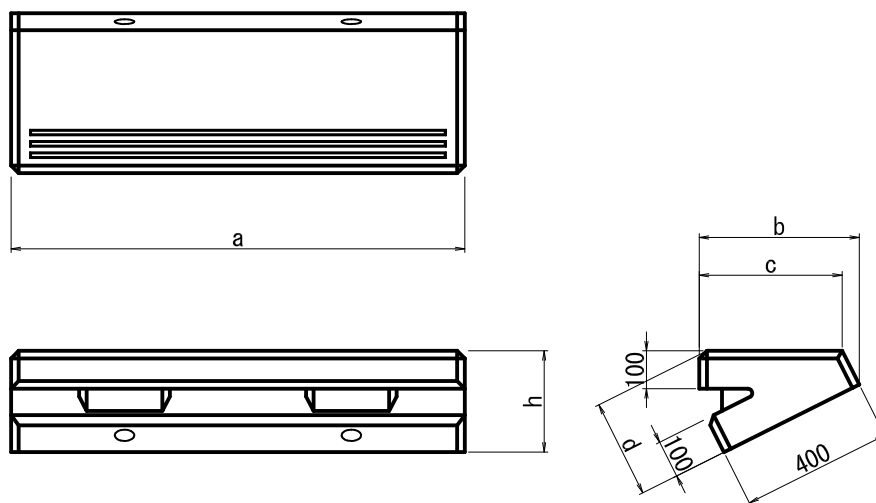
連節階段ブロック

標準設計番号

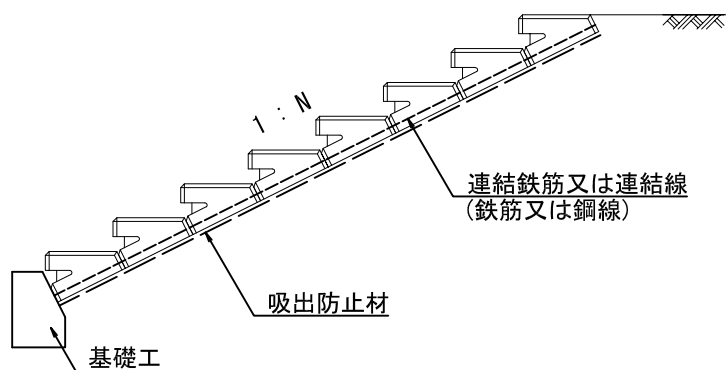
河－Ⅱ－10

工種記号

連－(階段)



呼 び 名	寸 法 (mm)					参考質量 (kg)
	a	b	c	d	h	
1.0型	1200	374	303	300	354	180
1.5型	1200	408	353	285	305	180
2.0型	1200	423	378	260	268	180
2.5型	1200	429	392	238	241	180
3.0型	1200	432	400	220	221	170
許 容 差	±3	±3	—	—	±3	—



特記事項

- ・ 詳細は、「環境配慮型ブロック設計資料(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。

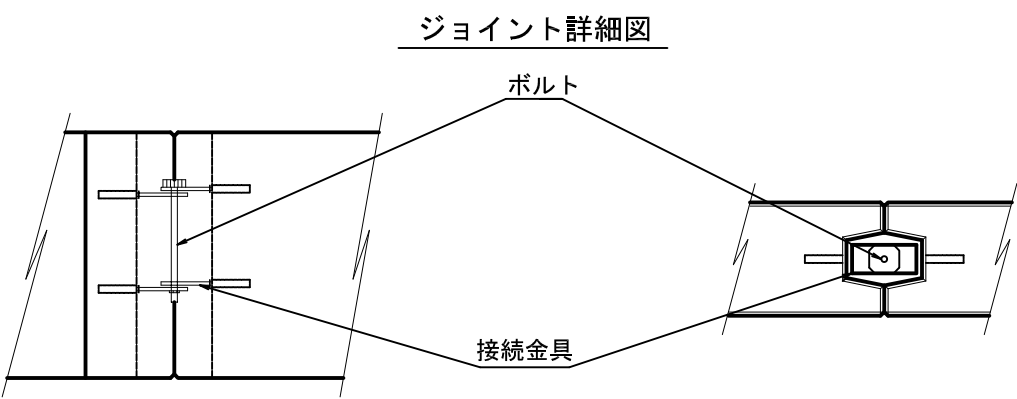
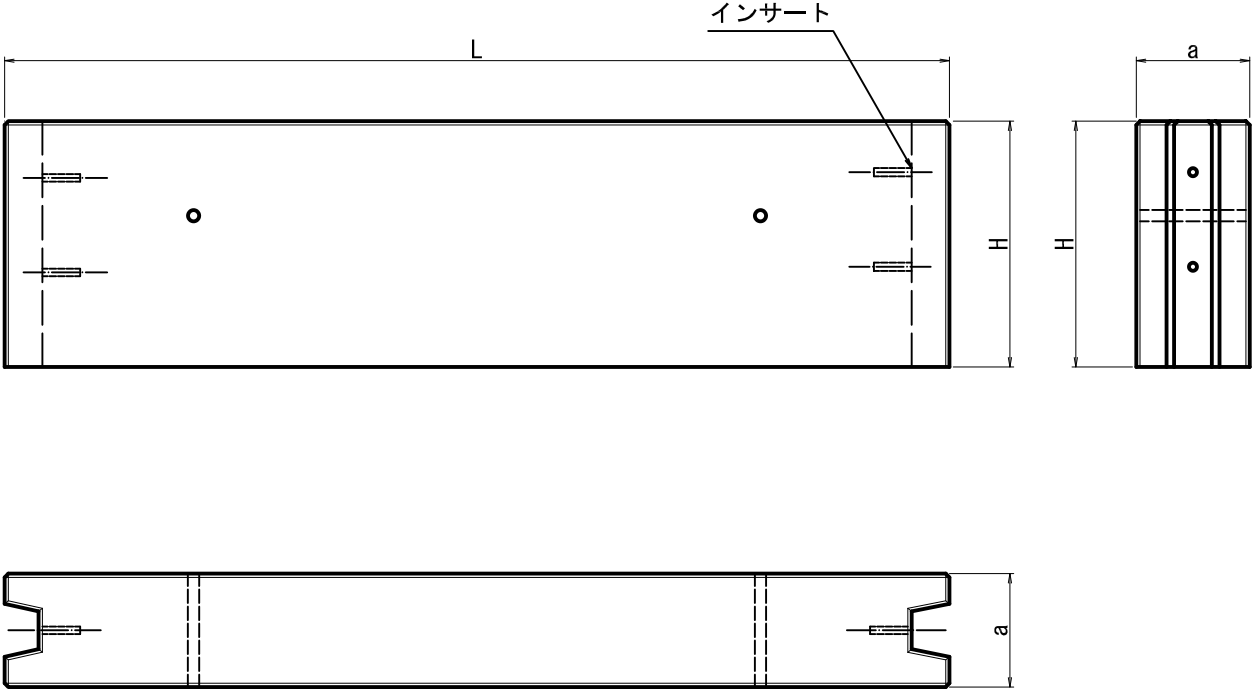
参考図表

参考数量

(28.8m² 当り)

名 称	規 格	単 位	数 量
連 節 階 段 ブ ロ ッ ク	350kg/m ²	m ²	28.8
鉄 筋	$\phi=13\text{mm}$ D=13mm	kg	60.9
河川護岸用 吸出防止材	t=10mm	m ²	31.7
溶 接 長		m	2.16

名 称	隔壁・小口止・巻止ブロック	標準設計番号	河－Ⅱ－12
		工種記号	隔, 小口止, 巻止



呼び名		寸法 (mm)			参考質量 (kg)
		a	L	H	
隔 壁	500	300	2500	500	830
	550			550	910
	650			650	1080
	700	400	2500	700	1530
	900	500	2500	900	2480
	1000			1000	2760
小口止め		300	3000	1000	2015
		400		1000	2655
巻止め		300	3000	1000	2015
		400		1000	2655
許容差		±3	+5, -3	+10, -5	—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ ブロック同士の接合は専用接続金具を使用し、中詰コンクリートを打設する。

参考図表

呼び名		中詰コンクリート (m^3)	基礎材量 (m^3)	基面整正面積 (m^2)
隔 壁	500	0.0120	0.10	0.50
	550	0.0132	0.10	0.50
	650	0.0156	0.10	0.50
	700	0.0308	0.12	0.60
	900	0.0450	0.12	0.70
	1000	0.0500	0.14	0.70
小口止め		0.0240	0.10	0.50
		0.0440	0.12	0.60
巻止め		0.0240	0.05	0.50
		0.0440	0.06	0.60

名
称

魚道ブロック

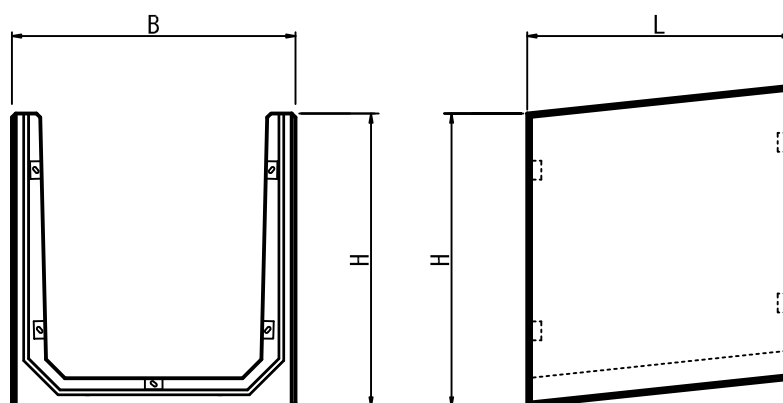
標準設計番号

－

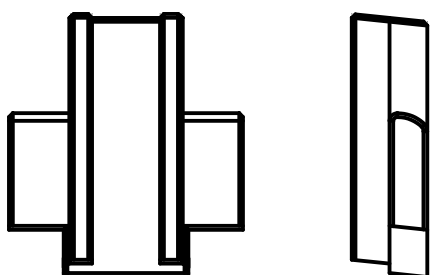
工種記号

－

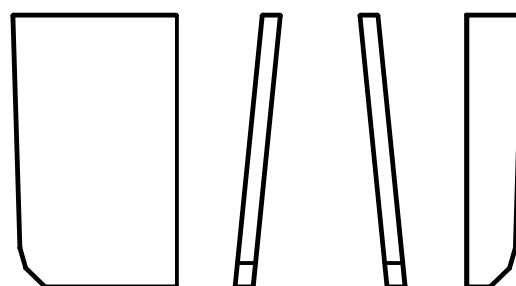
本 体



隔壁 (アイスハーバー)



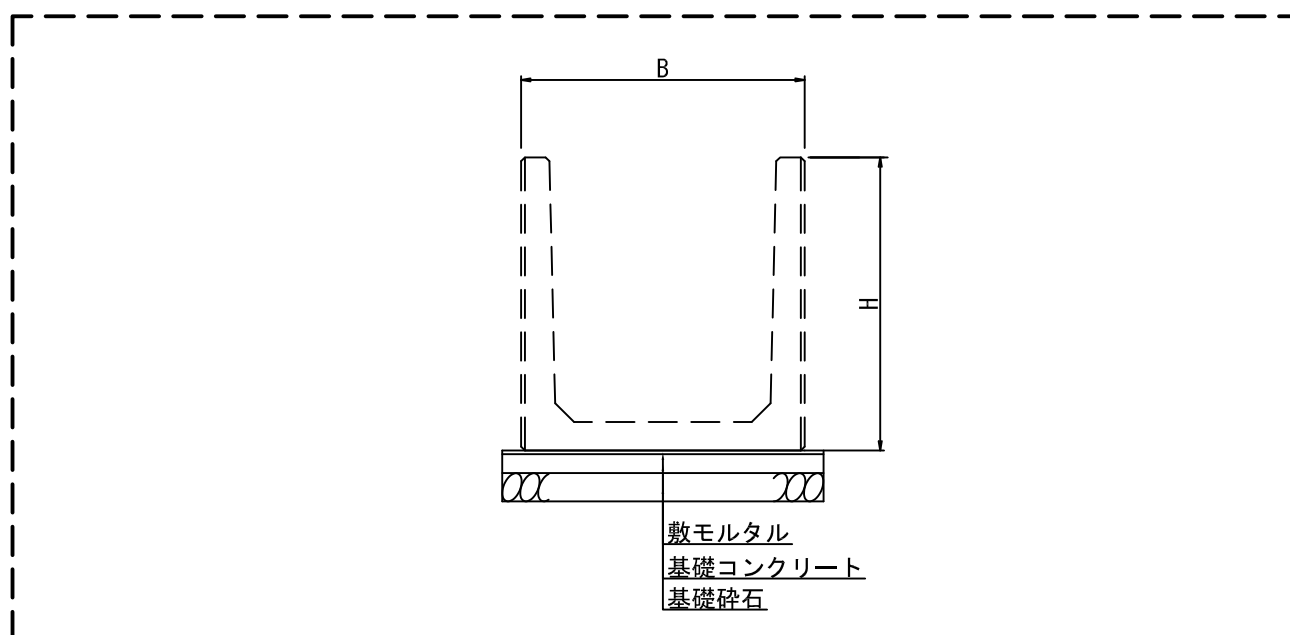
隔壁 (バーチカルスロット)



特記事項

- ・ 詳細は「プレキャスト魚道ブロック工法の手引き（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 とする。
- ・ 水路の形状・隔壁の形状については、現場条件・水理特性等に基づき検討する。

参考図



監 査 廊

標準設計番号

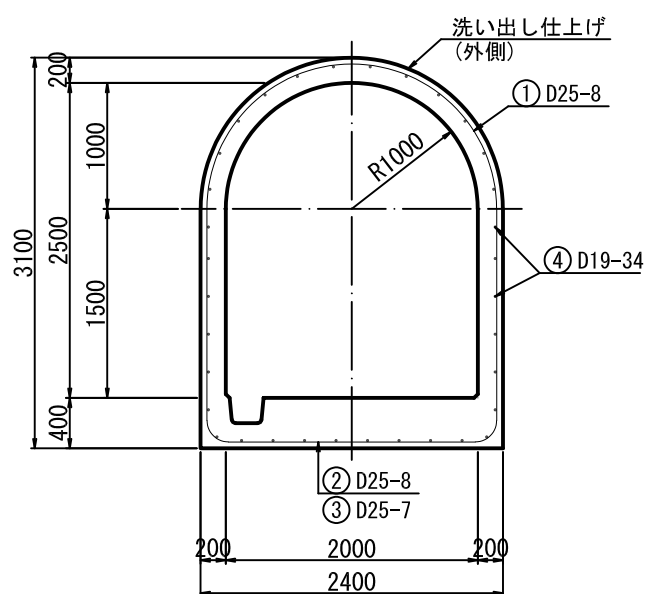
—

工種記号

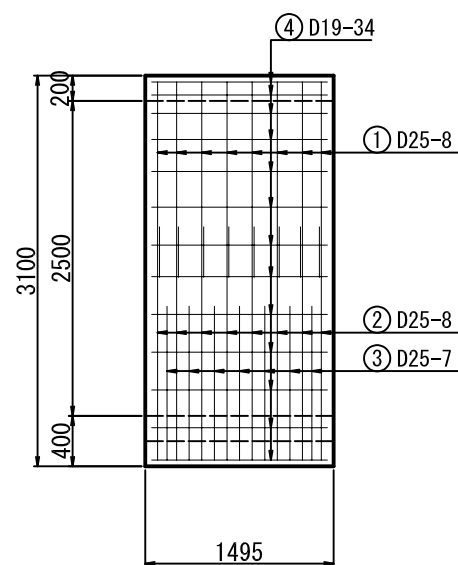
—

[一般水平部]

断 面 図



側 面 図



特記事項

- ・ 部材の種類は他に階段部・交差部がある。

名
称

波返ブロック

標準設計番号

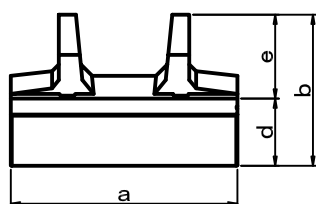
－

工種記号

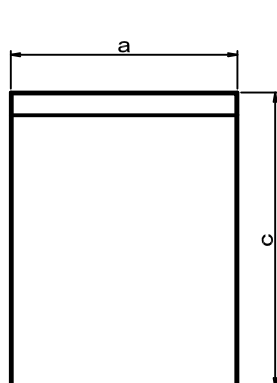
－

Ⅰ 型

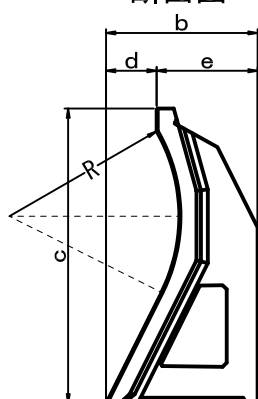
平面図



正面図

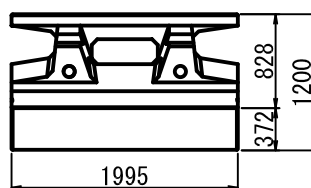


断面図

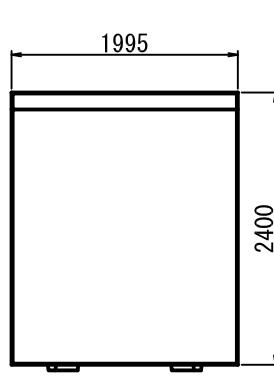


Ⅱ 型

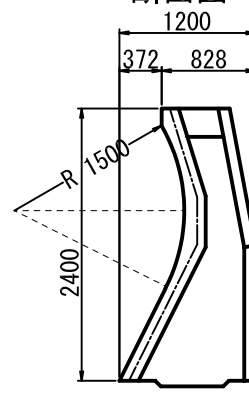
平面図



正面図



断面図



呼び名		寸法 (mm)						参考質量 (kg)
		a	b	c	d	e	R	
Ⅰ 型	R1.5-1:0.5	1998	1337	2600	447	890	1500	3220
	R1.5-1:0.3	1998	1088	2500	198	890	1500	2948
	R2.0-1:0.5	1998	1286	3000	396	890	2000	3641
	R2.0-1:0.3	1998	1014	2800	124	890	2000	3238
Ⅱ 型	石川タイプ	1995	1200	2400	372	828	1500	3764
許容差		±5	±5	+10, -5	－	－	－	－

特記事項

- ・ $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295とする。
- ・ Ⅰ 型の下段ブロックの背面は直壁タイプと1分勾配タイプがあります。
- ・ Ⅱ 型には下段ブロックが 1 割、1.5割の緩傾斜タイプもあります。

参考図表

参考数量 (ブロック1個当り)

呼び名		胴込コンクリート (m^3)
Ⅰ 型	R1.5-1:0.5	2.67
	R1.5-1:0.3	2.33
	R2.0-1:0.5	2.78
	R2.0-1:0.3	2.33
Ⅱ 型	石川タイプ	1.64

名称

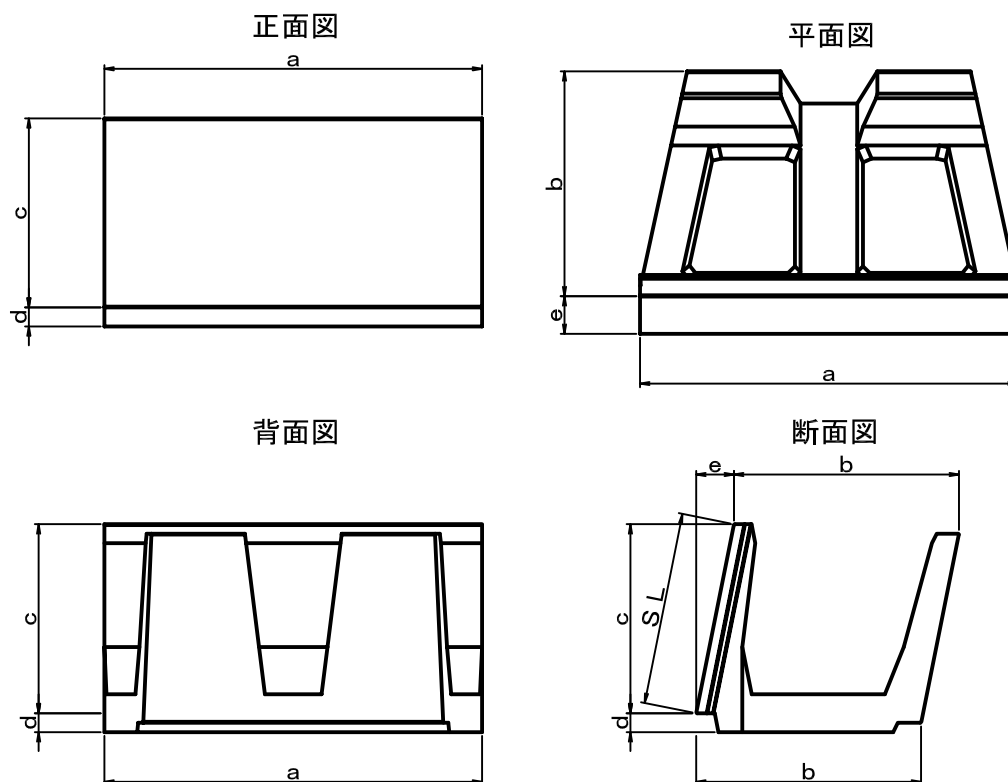
無人化施工用型枠ブロック

標準設計番号

—

工種記号

—



呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg) (化粧タイプ)
	a	b	c	d	e	S L	
直壁	1998	1190	1000	100	0	1000	1744 (1882)
2分	1998	1190	1000	100	200	1020	1688 (1828)
5分	1998	800	1000	50	500	1118	1371 (1525)
許容差	±5	±5	+10, -5	—	—	—	—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295 とする。
- ・ () 表示は表面が化粧タイプの参考質量。
- ・ 砂防工事等の落石等の危険が常時ある場所で、人的被害を最小限にする目的で遠隔機械による施工で省人化施工。
- ・ 基礎部の施工方法は現場毎に個別適時判断。

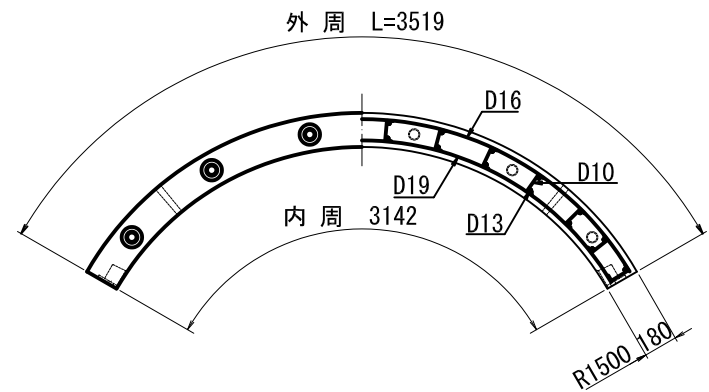
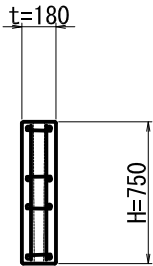
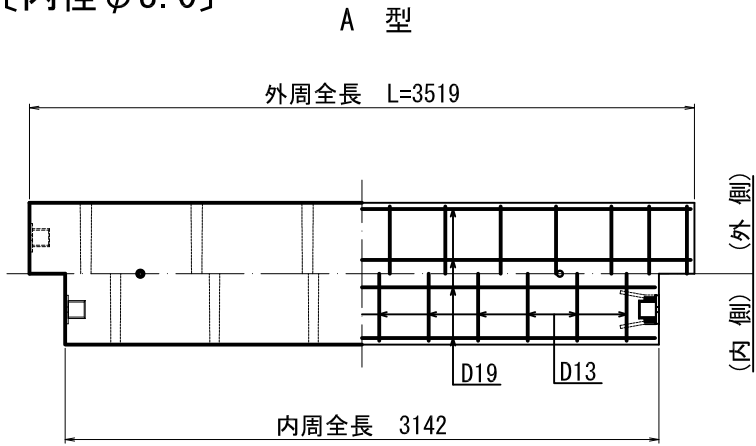
参考図表

参考数量 (延長1m当り)

呼び名	胴込コンクリート (m^3)
直壁	0.81
2分	0.82
5分	0.50

名称	組立集水井筒（その1）	標準設計番号	河－Ⅶ－3
		工種記号	砂－集水

自重沈下方式
〔内径φ3.0〕

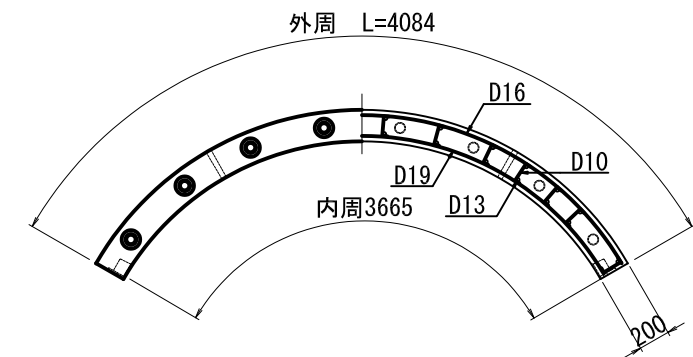
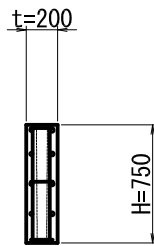
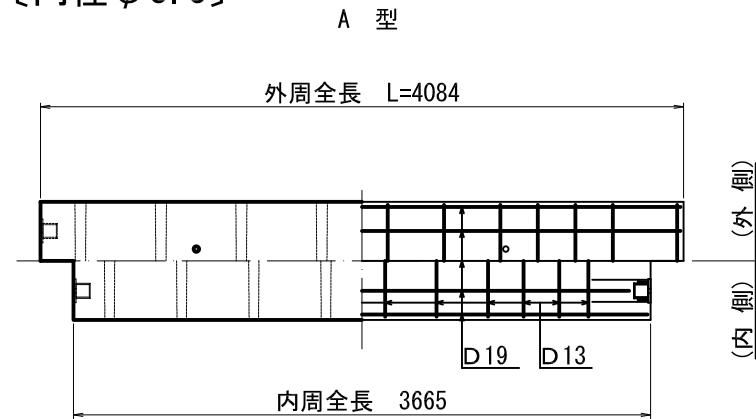


自沈方式	タイプ	参考質量(kg)
	A 型	1040
	B 型	1040
	C 型	815

寸法許容差

L	H	t
±3	±3	±3

〔内径φ3.5〕

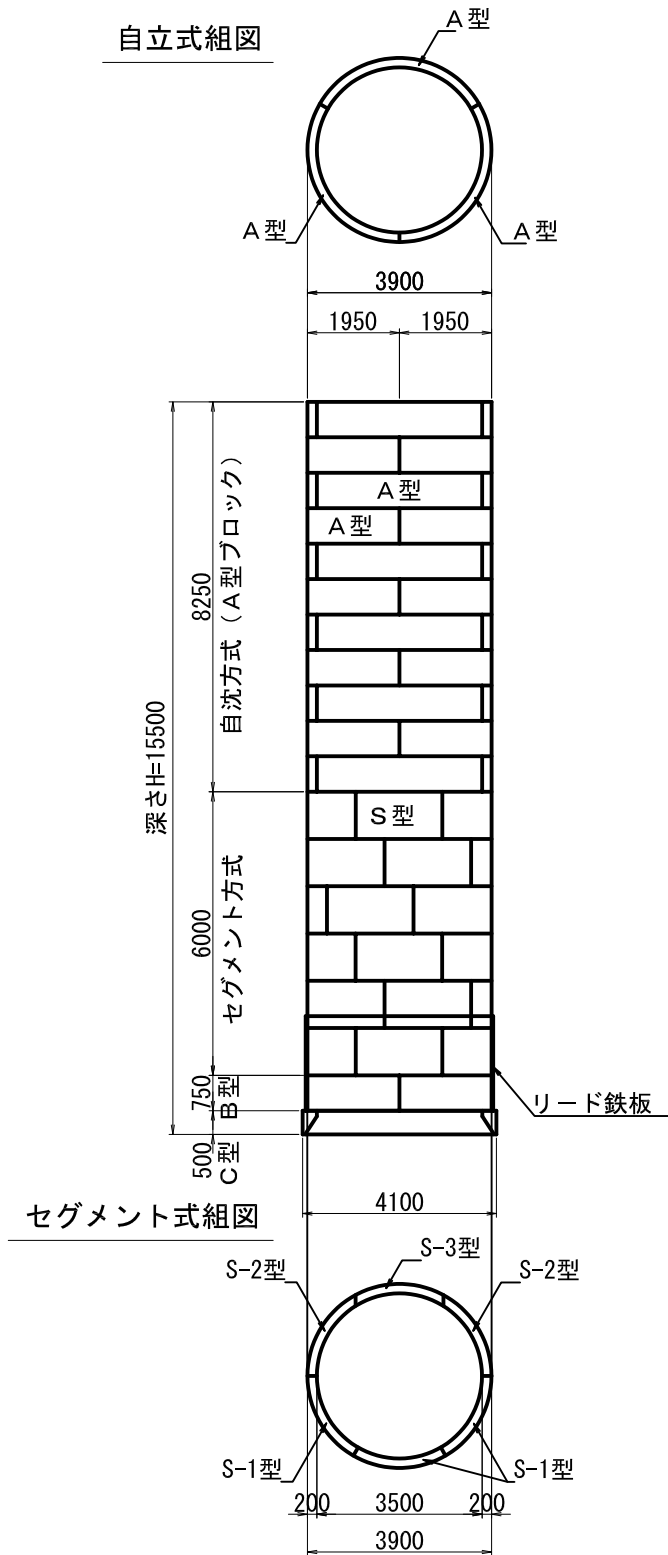


自沈方式	タイプ	参考質量(kg)
	A 型	1340
	B 型	1360
	C 型	1030

寸法許容差

L	H	t
±3	±3	±3

一般構造図（内径φ3.5）



縦方向挿入鉄筋径

内径(m)	径	本数
φ 3.0	D16	18本
φ 3.5	D19	24本

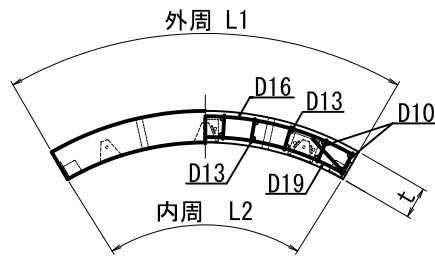
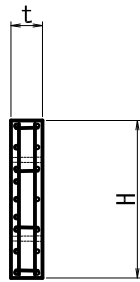
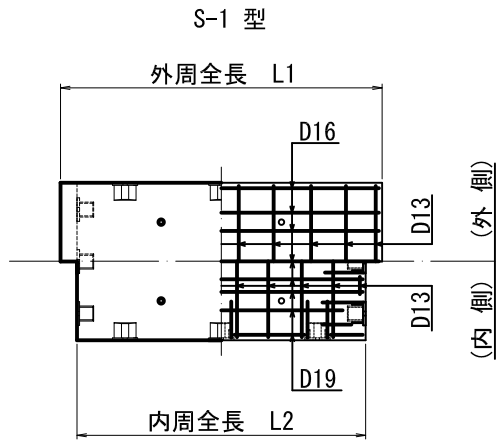
特記事項

- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_c k=40N/mm^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295とする。ただし、自沈方式に用いる縦方向挿入鉄筋はSD345とする。

名称	組立集水井筒（その2）	標準設計番号	河－Ⅶ－3
		工種記号	砂－集水

セグメント方式

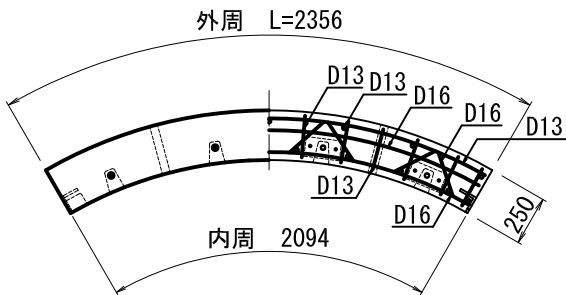
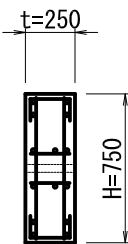
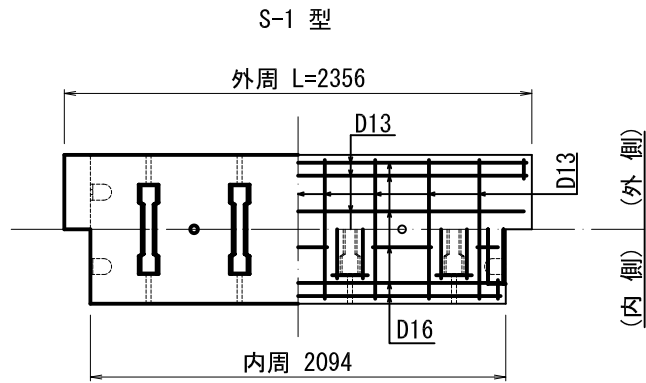
〔内径φ3.0・φ3.5〕



タイプ	参考質量 (kg)	
	内径φ3.0	内径φ3.5
S-1 型	515	900
S-2 型	515	900
S-3 型	515	905

	寸法 (mm)			
	L1	L2	H	T
内径φ3.0	1759	1571	750	180
内径φ3.5	2042	1833	1000	200
寸法許容差	±3	—	±3	±3

〔内径φ4.0〕

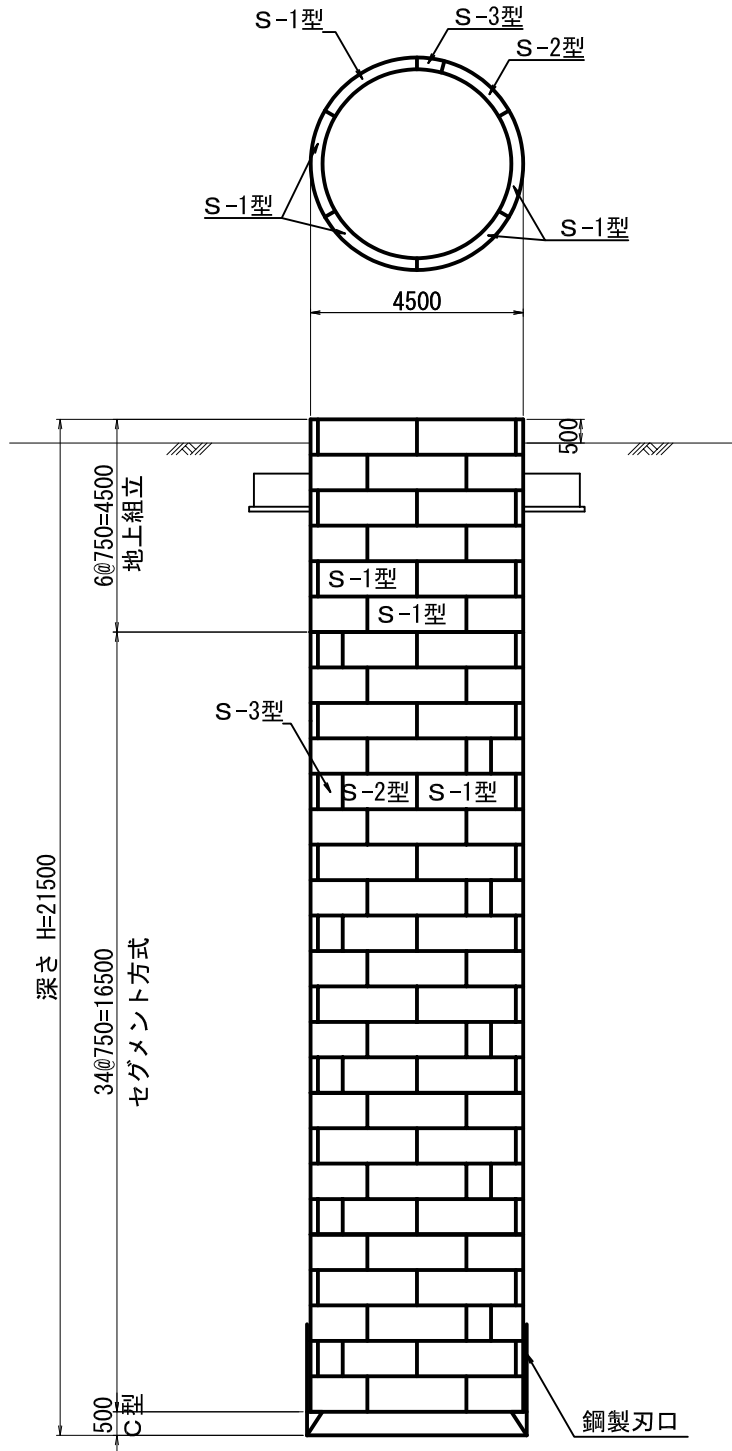


タイプ	参考質量 (kg)
S-1 型	1040
S-2 型	780
S-3 型	260

寸法許容差		
L	H	t
±3	±3	±3

一般構造図（内径φ4.0）

セグメント式組図

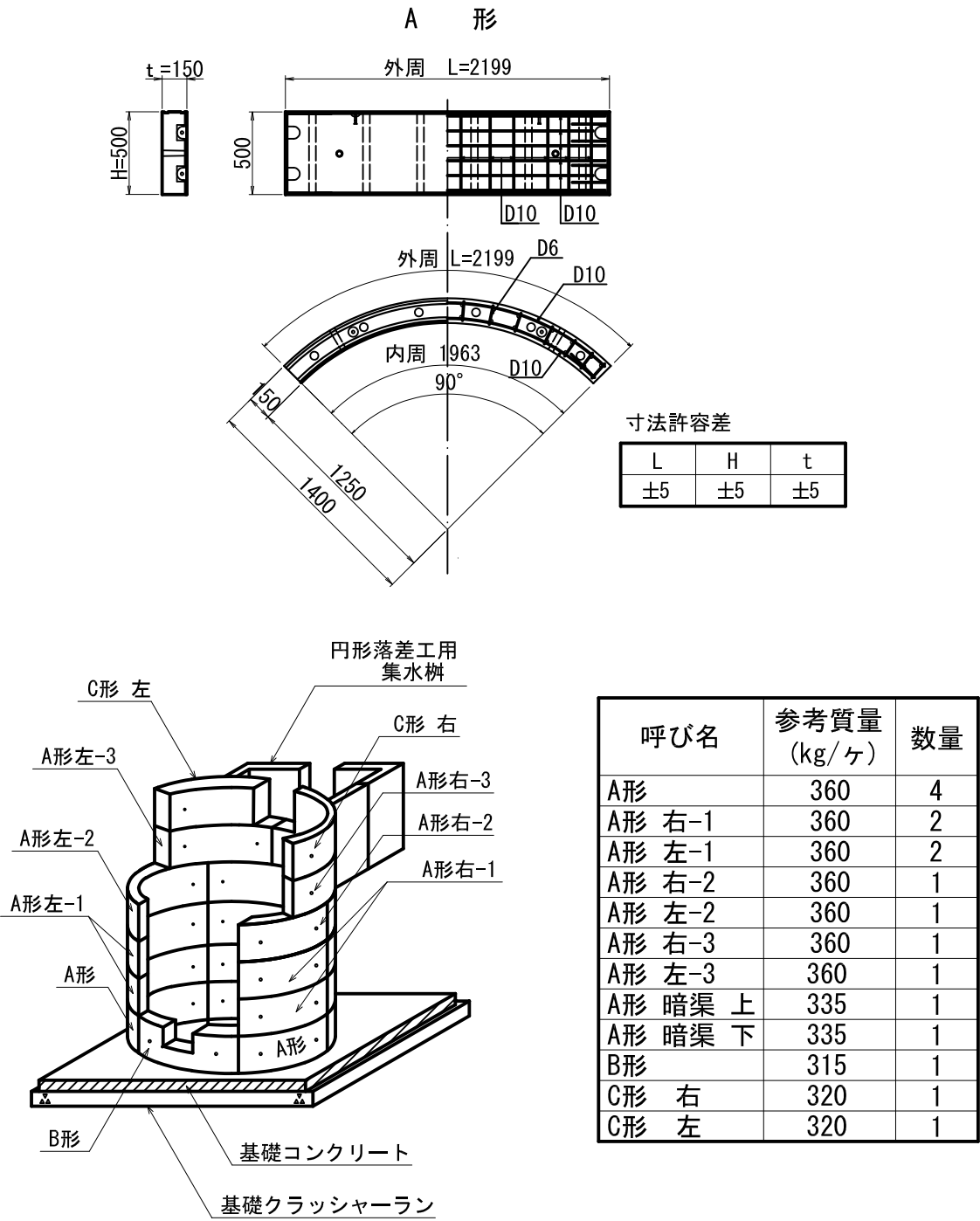


特記事項

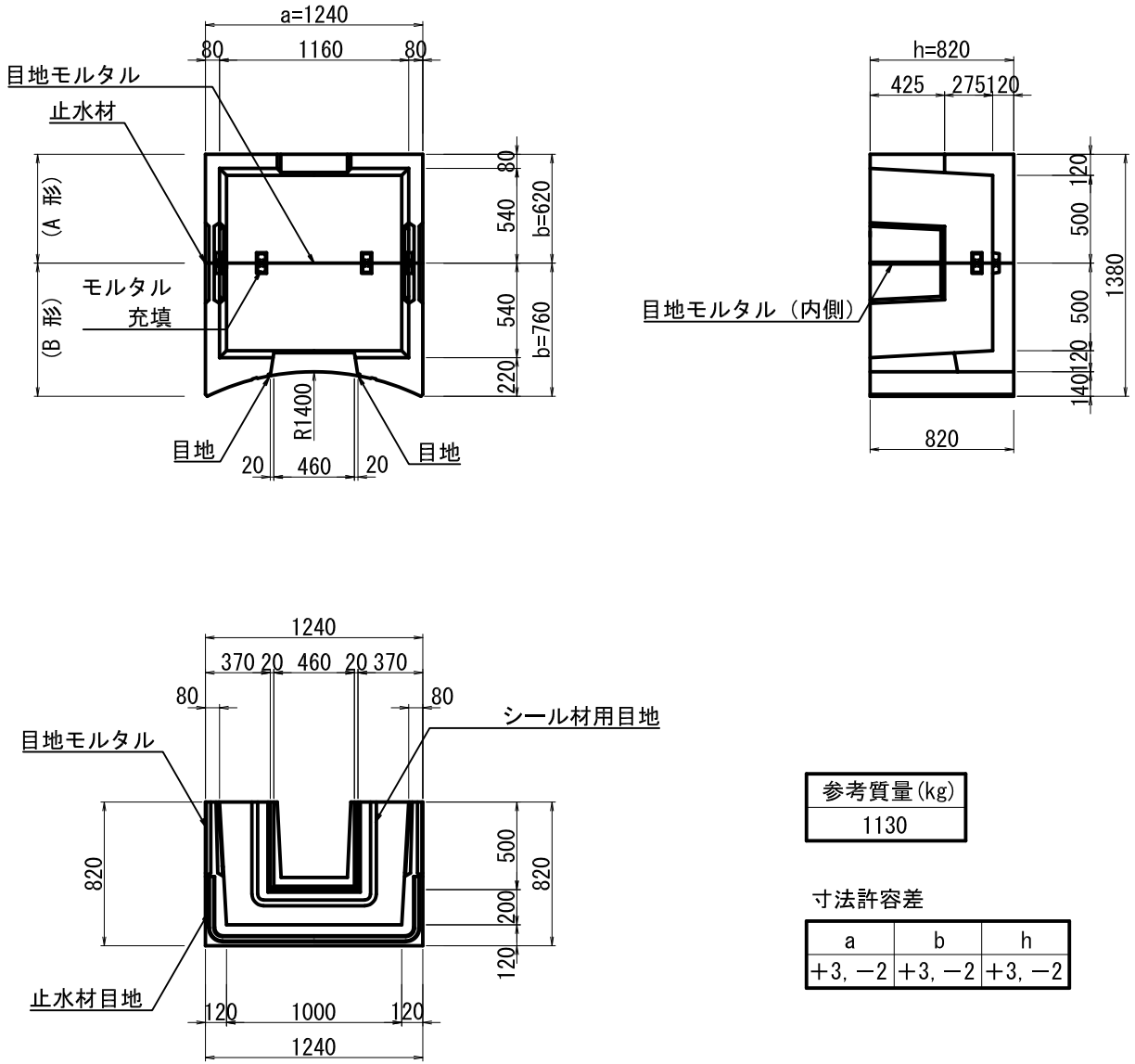
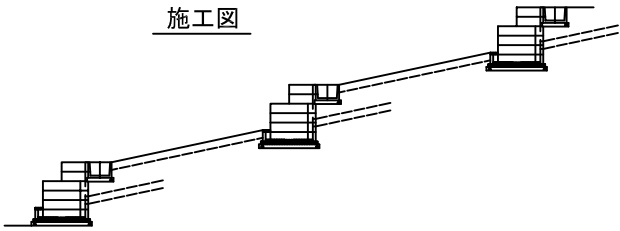
- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_c k=40N/mm^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295とする。
- ・セグメント方式の連結は、M22高力メッキボルト を使用する。

名称	円形落差工	標準設計番号	河－Ⅶ－4
		工種記号	砂－落差工

円形落差工用集水桝



施工図



特記事項

- ・詳細は、「鉄筋コンクリート集水井設計・施工マニュアル(鉄筋コンクリート集水井検討委員会)」による。
- ・ $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295とする。
- ・施工は、組立挿入鉄筋(D16)を挿入し、グラウトを充填する。
- ・円形落差工本体と集水桝との連結は、ボルトを使用する。
- ・基礎コンクリートは、現場打ちとする。

名
称

組立ブロック堰堤

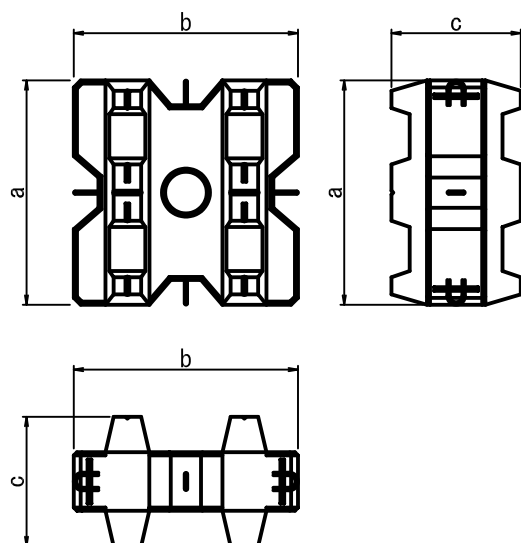
標準設計番号

—

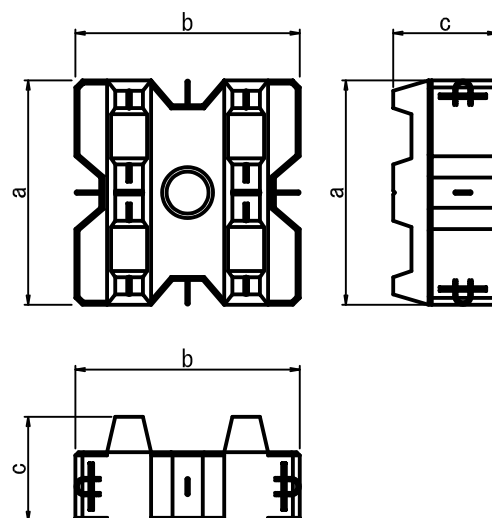
工種記号

—

Ⅰ 型



Ⅱ 型



呼 び 名	寸 法 (mm)			参考質量 (kg)
	a	b	c	
Ⅰ 型	1.0 t	1150	1150	664
	2.0 t	1424	1424	821
	3.0 t	1630	1630	940
Ⅱ 型	1.0 t	1150	1150	527
	2.0 t	1424	1424	661
	3.0 t	1630	1630	753
許 容 差	+15, -5			—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ ブロック上下の凹凸が噛み合い一体化が図れ、直積設置が可能。
- ・ 無人化・省人化施工可能な吊り下げ用穴を設置。

その他

- ・ 床固工・護岸工・護床工・腹付工・備蓄工等の幅広い用途に使用可能。

参考図表

